

# 「アルツハイマー病研究に資する血漿中アミロイド $\beta$ の電気化学定量基盤の構築」

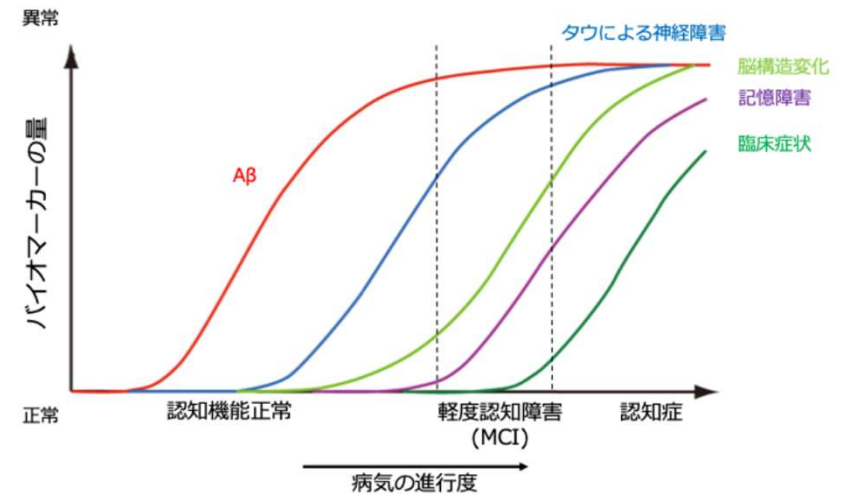
藤井 敏司 フロンティアサイエンス学部 教授(生体関連化学) 2026~2027年度

## 1. 目的

アルツハイマー病の発症リスクを出来るだけ早期に評価する測定系の構築

## 2. 研究内容

アルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイド $\beta$ (A $\beta$ )は、右図のように、認知症状が顕著になる前に最も早く変化を示す物質です。この物質量の变化を捉えるためには、非常に高感度な測定法が必要になりますが、簡単に、安価に、素早く測定する方法は限られた



ものしかありませんでした。我々はこれまで、血液中のA $\beta$ を電気化学的に測定することによって、健康診断の1項目としても活用できるような測定法の開発を行ってきました。本研究では、血液中の夾雑物の影響を取り除く方法の検討や、電極ごとの測定値のばらつきの規格化を行います。

## 3. 期待される成果(社会へどのように役立つか)

アルツハイマー病の発症リスクを早期に評価することができるようになり、既存薬と合わせて数多くの皆様のQOL維持に貢献できると考えられます。